

近畿の「老舗企業」 8364 社 直近 1 年で 293 社増加

老舗出現率、京都府が全国トップ
滋賀県が 6 位で続く

近畿地区・「老舗企業」分析調査(2025 年)



本件照会先

藤坂 亘（調査担当）
帝国データバンク
大阪支社情報部
06-6441-3100(直通)
mail:osakajoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/04/14

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025 年 12 月時点で業歴 100 年を超える近畿の老舗企業は 8364 社で、老舗出現率は 3.12%となった。老舗出現率を都道府県別でみると京都府が全国トップで、滋賀県が 6 位で続いた。業種大分類別では、製造業の老舗企業数が最も多く、次いで卸売業、小売業の順となった。業種細分類別でみると、貸事務所業がトップだったが、全国の上位 10 業種に入らなかった木材・竹材卸売業や造園工事業などが上位に名を連ねる。

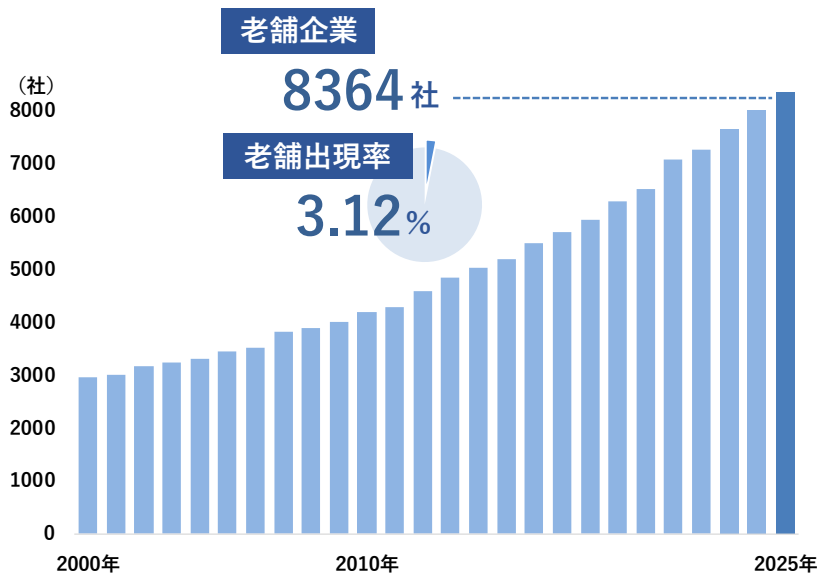
帝国データバンクが保有する企業概要ファイル「COSMOS2」(2025 年 12 月時点、約 150 万社収録)に加え、独自で収集し営業の実体が確認できた企業を基に、創業・設立から 100 年以上の企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った。創業時が元号・時代のみ判明している場合には、各元号・時代の最終年を創業年として集計した。前回調査は 2024 年 9 月。

近畿に老舗企業は 8364 社、老舗出現率は 3.12%

2025 年 12 月時点で業歴 100 年を超える近畿の老舗企業は、世界最古の企業を前身に持つ金剛組(大阪市天王寺区)をはじめ 8364 社だった。前回調査の 2024 年 9 月時点(8071 社)と比べ、直近の約 1 年で 293 社増加した。

府県別では、大都市圏である大阪府が 2540 社で、京都府が 1693 社、兵庫県が 1557 社だった。全国順位では大阪府が全国 2 位、京都府が 4 位、兵庫県が 7 位となった。江戸時代には「天下の台所」と呼ばれていた大阪府など、近畿には長きにわたって地域経済を担っている企業が多数あることが分かる。

老舗企業数 推移



近畿の老舗出現率は 3.12%と全国(3.11%)をわずかに上回った。府県別では、京都府が 5.45%で全国トップ。古都として栄え、第二次世界大戦中の被害が比較的小さかったことが、老舗企業の存続につながっていると考えられる。滋賀県が 4.52%で全国 6 位となった。他方、大阪府は 2.30%で 38 位だった。

老舗企業数・老舗出現率 都道府県別

老舗企業数 全国順位	都道府県	老舗企業数	老舗出現率 全国順位	都道府県	老舗出現率
2	大阪府	2540社	1	京都府	5.45%
4	京都府	1693社	6	滋賀県	4.52%
7	兵庫県	1557社	13	和歌山県	3.67%
25	滋賀県	647社	21	奈良県	3.29%
33	和歌山県	459社	28	兵庫県	2.89%
35	奈良県	448社	38	大阪府	2.30%

主な老舗企業（府県順）

創業年	商号	所在地	事業内容
1846年（弘化3年）	アサヒビールモルト（株）	滋賀県野洲市	アサヒグループで、ビール用の麦芽製造
1856年（安政3年）	（株）下鴨茶寮	京都市左京区	「下鴨茶寮」のブランド名で弁当販売、料亭運営
1906年（明治39年）	美津濃（株）	大阪府住之江区	「ミズノ」のブランド名でスポーツ用品製造
1876年（明治9年）	布亀（株）	兵庫県西宮市	牛乳宅配、「布亀の救急箱」として配置薬販売
1916年（大正5年）	学校法人奈良育英学園	奈良市	「奈良育英高等学校」など6校運営
1866年（慶応2年）	（株）名手酒造店	和歌山県海南市	純米酒「黒牛」など酒製造、不動産賃貸

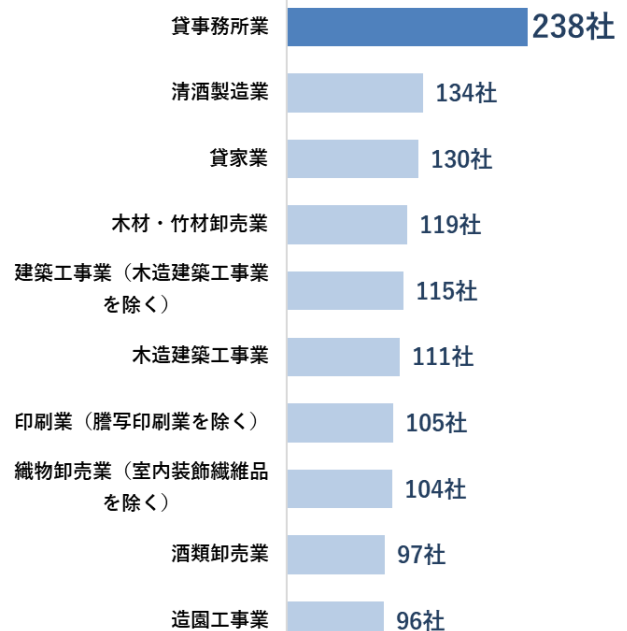
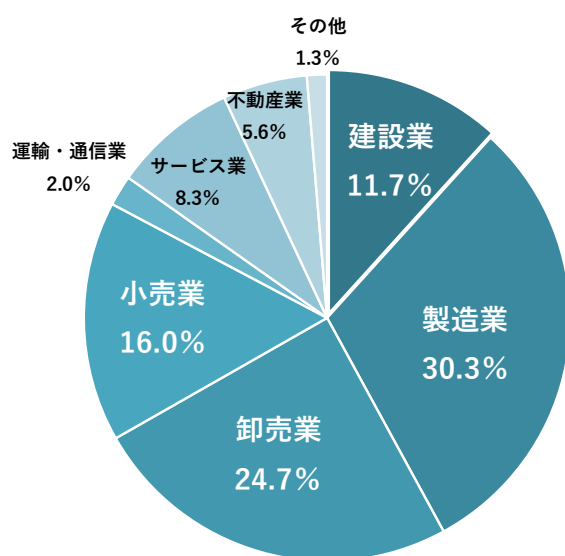
老舗企業の 7 割が製造・卸売・小売 貸事務所業がトップ

判明している現在の業種別にみると、最も多いのは製造業で、老舗企業全体の 30.3% を占めた。次いで、卸売業（24.7%）、小売業（16.0%）となり、7 割以上を占めている。

業種細分類別では、老舗企業数は貸事務所業が 238 社でトップ。次いで、清酒製造業が 134 社、貸家業が 130 社で続いた。貸事務所業や貸家業など不動産関連が目立つが、当初から不動産業を主業としていた企業はわずかだと考えられる。かつて主業としていた別の事業がありつつも、長い業歴の中で古くから保有する不動産を活用し、オフィスビルを建てるなど有効活用を進めた結果、収入の柱へと変化していったとみられ、安定した資産を保有する老舗企業の強みが表れている。

また、室町時代から始まったとされるブランド杉「吉野杉」関連や、伝統的な日本庭園づくりを支える企業を有する近畿では、木材・竹材卸売業（119 社）や造園工事業（96 社）といった、全国の上位 10 業種に入らなかった業種も名を連ねた。

老舗企業 業種大分類別 構成比／業種細分類別 上位 10 業種

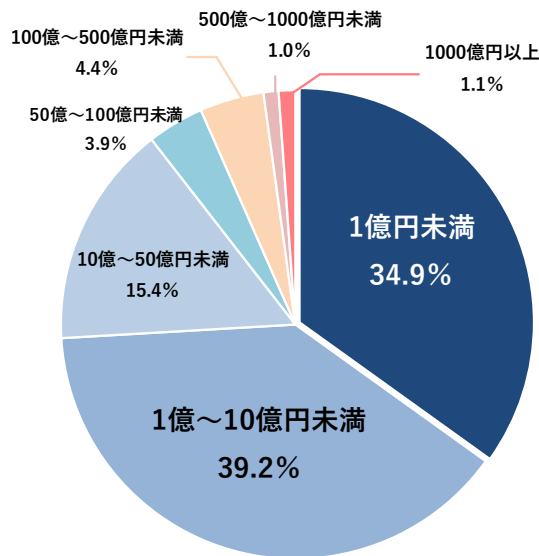


10 億円未満が 74.1%、1 億～10 億円未満が最多

売上が判明している老舗企業を売上規模別にみると、「1 億円未満」が 34.9%、「1 億～10 億円未満」が 39.2%と、10 億円未満が 74.1%を占める。規模は小さくとも、着実に長く事業を続けているケースが大半を占めた。

他方、全国では 10 億円未満の割合が 79.0%だった。近畿では、全国と比べて業容が大きい老舗企業の割合が高いことが分かった。

老舗企業 売上高構成比



まとめ

近畿地方は、「千年の都」として確固たる歴史を有する京都府や、「天下の台所」として長く商業の中心地であり続けた大阪府を擁し、今なお活躍し続ける企業は多い。今回の調査結果によると、業歴 100 年を超える老舗企業は 8364 社を数え、前回調査の 2024 年 9 月時点(8071 社)から 293 社増加。老舗出現率は 3.12%と全国(3.11%)をわずかに上回り、特に京都府は 5.45%で全国トップだった。

近畿では 2025 年、19 社(負債 1000 万円以上)の老舗企業が倒産している。新型コロナウイルス感染拡大や物価高の影響を受けた企業、代表者の死去がきっかけで事業継続を断念した企業がみられた。老舗企業を含む業歴 30 年以上の倒産件数は 512 件となり、4年連続で増加している。

100 年を超え、事業を続けるには、時代のニーズを捉え、製品開発や新技術、販路開拓などに挑み続ける姿勢が不可欠である。災害や戦争を乗り越えてきた老舗企業は、保守性と革新性を持ち合わせ、変化を恐れない。それこそが老舗であり続ける条件であり、学ぶべき教訓も多い。